

## CEPWの活動と成果 バーミヤン州において



- \* 地元にある資源を利用した生計向上活動の支援
- \* 地域の中でも特に弱い立場にある女性の生計向上支援
- \* コミュニティー開発委員会を含む、コミュニティ内の既存女性グループ(シューラ)の強化に焦点を当てた支援

に焦点を当て、ドライフルーツ技術と市場開拓・羊飼育・羊の予防注射技術普及・カーペット編等の8つの生計向上サブプロジェクトを実施した。

プロジェクトに参加した女性たちの数(2,259人)

これらの活動により

女性の手による加工品により、世帯収入が向上した

女性による収入向上活動が男性に認められるようになり、男性グループが女性グループの活動を手伝うようになった

コミュニティ開発委員会において、女性の収入向上活動への理解が以前よりも深まった

## CEPWの活動と成果 バーミヤン州(写真) 1



# CEPWの活動と成果 バーミヤン州(写真)2



# CEPWの活動と成果 バーミヤン州(写真)2





- \* 女性課題省職員に女性支援の経験者が少ない
- \* 女性課題省は政策調整役であり、実施予算を持たない
- \* 多くの都市生活者は地方の現状を知らない
- \* 民族・宗教派間の対立
- \* 女性の長距離移動の困難(マハラム\*付添男性が必要)
- \* 男性の理解なくして、女性支援の入り口はない
- \* 女性に直接的インプットが可能なのは、多く女性のみ
- \* 外国人が頻繁にコミュニティに入るのは不可能
- \* 各組織における経験不足、人材不足、女性スタッフ不足

様々な困難を乗り越えながら、  
活動を方法を模索し続ける  
毎日の連続でした

## プロジェクトを通して現れてきた変化

### 行政官の変化

- \* 女性たちには「可能性」があり、「何かを成し遂げる力」があると自信を持って言えるようになった
- \* 自分たちは、女性たちの生計・生活向上への活動が活性化するための「手伝い(ファシリテーション)」が出来るという自信が見えてきた

村の女性たちの活動を定期的に見るうちに、行政官の支援に対する態度や意見にも変化がみられるようになった

### 村の女性たちの変化

- \* 女性たちが管理していたもの(家畜や樹木)についての管理能力が高くなった
- \* 女性の管理物(家畜や樹木)からの製品の加工技術が高くなった
- \* より販売価格(付加価値)の高い製品を作れるようになった
- \* 自分たちの製品を自分たちで市場に持ち込めるようになった
- \* 自分たちの製品作りや市場に持って行く等の活動を、村の男性が手伝ってくれるようになった。
- \* 「もっと色々な活動がしたい」という声上がるようになった。

\* 中央・地方行政官、NGOスタッフ、プロジェクトスタッフ、村の各普及員、開発委員会に至るすべての組織において、経験者不足・女性スタッフ不足  
(ファシリテーション人材の不足)

\* ファシリテーション人材を育てるには、経験の場を提供し、経験者と共に活動する蓄積が必須 (寄り添いながら人を育てる)

\* 政策調整のためにも、効果的女性の経済的エンパワーメントを試行・普及するための予算が必要 (政府全体での女性支援活動への理解)

\* アフガン全土にて女性が参加できる生計・生活向上活動を支援しつつ、また、女性を支援(ファシリテーション)できる人材を育てていく事が重要。

\* そのためには、エリアや優先課題を整理し、女性支援を行う機関と予算を定め、長期的実施を行う事が大切。